

# ラダー I

看護の核となる実践能力	定義	基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を得ながら看護を実践する
	目標	助言を得てケアの受け手や状況（場）のニーズをとらえる
	ニーズをとらえる力	<input type="checkbox"/> 助言を得ながら患者・家族に必要な身体的・精神的・社会的スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 患者・家族の状況から緊急度をとらえることができる
	目標	助言を得ながら、安全な看護を実践する
	ケアする力	<input type="checkbox"/> 指導を受けながら看護手順に沿った安全な看護が実践できる <input type="checkbox"/> 指導を受けながら、患者・家族に基本的援助ができる <input type="checkbox"/> 看護手順に沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる
	目標	関係者と情報共有ができる
	協働する力	<input type="checkbox"/> 助言を得ながら患者・家族を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる <input type="checkbox"/> 助言を得ながらチームの一員としての役割を理解できる <input type="checkbox"/> 助言を得ながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる <input type="checkbox"/> 患者・家族を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる <input type="checkbox"/> 連絡・報告・相談できる
	目標	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る
意思決定を支える力	<input type="checkbox"/> 助言を得ながら患者・家族や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる	
組織役割遂行能力	定義	社会人、組織人としての自覚を持ち行動する指導・助言を受けながら、組織の中でチームメンバーとしての役割を果たす
	目標	専門的・倫理的・法的な基礎を理解できる
	専門的・倫理的・法的な実践をする力	<input type="checkbox"/> 自らの役割と能力の限界を十分に理解できる <input type="checkbox"/> 日本看護協会の「看護者の倫理綱領」は看護師の行動指針であることが理解できる <input type="checkbox"/> 医療法、保健師助産師看護師法に基づき行動できる <input type="checkbox"/> 並木病院のマニュアルに沿って看護実践できる
	目標	並木病院の役割と自部署の役割を理解できる
マネジメントする力	<input type="checkbox"/> 病院・看護部の理念・基本方針・部署の目標を理解し、看護職としての自覚を持つことができる <input type="checkbox"/> 部署の特殊性と業務内容を理解できる <input type="checkbox"/> 安全管理（医療安全、感染対策、災害対策）について各種マニュアルに沿って実践できる	
専門性の開発能力	定義	指導・助言を受けながら、自己の教育的課題に気づく
	目標	生涯学習の必要性が理解できる
	学び続ける力	<input type="checkbox"/> 看護職として基本的な知識・技術を習得できる <input type="checkbox"/> 院内・部署での教育計画に主体的に参加できる